

## 事業案内（研修事業）

詳しくは当協会ホームページ・Facebook をご覧いただくか、お問い合わせください。

### 令和4年度第2回レク有資格者フォローアップ研修会

～音楽を活用したレクリエーション～ 音楽レクリエーションとは、音楽を通じて心身の機能向上やQOL向上を目指したレクリエーションのことです。認知症予防やストレス解消などが期待でき、高齢者だけでなく、ストレス社会の現代において、子どもから高齢者まで楽しむことができます。

期 日	令和5年1月22日（日）13：30～16：30（受付13：00～）
会 場	小郡ふれあいセンター 集会室（山口市小郡下郷1440番地1）
対象者	レクリエーション公認指導者、レクリエーションに関心のある方など
参加費	一般 4,000円

会員割引  
レク指導者会員または賛助会員 3,500円  
レク指導者会員で賛助会員の方 3,000円

持参品 筆記用具、活動実績カードまたは学習履修カード（お持ちの方のみ）

申込方法 当協会事務局までメール、またはFAXでお申込みください。（開催要項は11月下旬頃ホームページにアップいたします）



【講師】奥田祐子氏  
NPO法人いきいきアクティビティ  
サービス理事長

## 事業報告

当協会ホームページ・Facebook でもご覧いただけます。

### 令和4年度レク関係者集会

【4月24日（日）山口県セミナーパーク 参加者20名】

加盟団体事務担当者およびレク指導者会員の皆さんに、令和3年度事業報告・会計報告、令和4年度事業計画・予算などを説明する会を開催しました。令和3年度は、「山口県スポーツ・レクリエーションフェスティバル」に加えて、山口県からの委託事業「スポーツフィールドやまぐちフェスティバル」という大きな事業を、加盟団体およびレク指導者会員の皆さんのおかげで無事に終了することができました。



今年度も県民の皆さんの余暇の充実と健康の保持・増進のため様々な事業を計画しており、加盟団体およびレク指導者会員の皆さんに一層の協力をお願いし、会を終了しました。

### 令和4年度第1回レク有資格者フォローアップ研修会

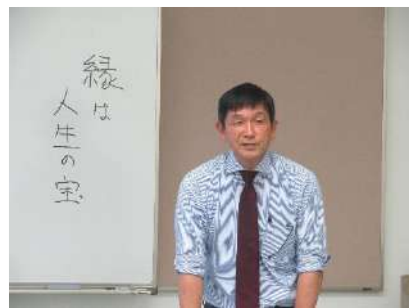
【4月24日（日）山口県セミナーパーク 参加者17名】

今年度第1回のフォローアップ研修会は、当協会の会長でもある岡村精二氏に「レクリエーション教育総論～レク力を高めよう～」と題し、講演していただきました。

岡村氏は多岐にわたる経歴と経験をお持ちで、その実績を通して感じた子ども達の現状を話され、現代の子ども達の置かれている環境、未来の子ども達の環境を、我々大人がより良くすることが、いかに大切か教えていただきました。

コロナ禍で心の元気が失われつつある今、そしてSDGsが推奨されている今、レクリエーションの力が人間関係の構築に役立ち、子ども達の頑張る場面をつくるなど、最も必要で、しかも有効であり、レクリエーションの力を発揮した結果には、日本社会、かつ世界を救う事につながるのだと話されました。

それは即ち「レクリエーションは世界を救う」ことで、私たちレクリエーション指導者に託された使命は大きいと感じました。（文責 稲村）



## チャレンジ・ザ・ゲーム教室 & 交流大会2022

THE NIPPON SOCIETY FOR YOUTH EDUCATION  
NIPPON 日本青少年教育振興機構  
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を  
おこそう

【令和4年6月25日（土） 下松市市民体育館 教室参加者15名・交流大会参加者37名】

午前中の教室は、チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員養成・研修として、種目ごとにリードアップの紹介・体験、ルールの確認・体験を繰り返して、競技方法、審判方法を学んでもらいました。時間いっぱい使って12の大会種目全てをお伝えすることができました。皆さん、とても集中して熱心に学ばれ、この日新たに10名の方が普及審判員に登録されました。



午後からの交流大会は、たくさんの小学生が参加してくれました。

記録会は、「ペア・リング・キャッチ」「チームスポーツテンカ」「スピード・ラダーゲッター」を行いました。当日作ったチームにも関わらず、お互いにアドバイスをし合いながら練習をし、記録会に臨まれていました。

成績発表では、1位から3位までのチームを紹介し、1位、2位のチームには賞品を授与しました。その後、お楽しみ抽選会を行い、交流大会は最後まで盛り上がりました。

## マンカラ交流大会2022

THE NIPPON SOCIETY FOR YOUTH EDUCATION  
NIPPON 日本青少年教育振興機構  
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を  
おこそう

【令和4年7月30日（土） 山口県セミナーパーク 参加者25名】

小学生低学年の部、小学生高学年の部、大人の部に分かれリーグ戦で予選を行いました。予想以上に子ども達のレベルが高く、スタッフ一同びっくり！熱気ムンムンの白熱した交流大会になりました。



トーナメント戦で決勝戦を行った後、表彰式を行い、各部の1位、2位の参加者には賞品を授与しました。「どーせすぐ負けると思ってた、2位じゃった！やったー！！」と喜びの声も。「次はいつ？練習してくるよ」と、すでに次の大会出場を目標にしている声も聞かれました。

## 親子で元気アップ！楽しくコーディネーション運動

THE NIPPON SOCIETY FOR YOUTH EDUCATION  
NIPPON 日本青少年教育振興機構  
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を  
おこそう

【令和4年5月21日（土）～7月9日（土） 参加者合計178名】

幼児・小学生低学年親子を対象とした本事業は、今年も好評のうちに全6回を終了することができました。



宇部フロンティア大学短期学部の学生さんや岩国短期大学の学生さんにもボランティアスタッフとして関わってもらうことができました。

事業終了後に行ったアンケートでは、「運動やスポーツが好きになった」と回答する子どもが多く、楽しく活動に参加されたことを伺うことができました。

## HIMARAYA presence アウトドア展示会

【アウトドア体験キャラバン事業】

【令和4年7月17日（日） 豊田湖畔公園 参加者のべ204名】

スポーツフィールドやまぐち推進協議会主催のイベントが豊田湖畔公園で開催されました。

当協会からは、キャンピング、クップ、スポーツチャンバラ、ネイチャーゲームの体験ブースを設置し、キャンプ場にいられたご家族の方に楽しんでいただきました。





# 楽しいレク財

～その17～

実際に体験された方、誰もが気軽にできるスポーツをご存知の方は山口県レクリエーション協会までご意見・情報をお寄せください。レク財コーナーで紹介します。お待ちしております。

## アウトドアスポーツ『モルック』

今回は人気上昇中のスポーツ、「モルック」を紹介します。

モルックは、フィンランドのカトリア地方から生まれた、円筒形の木を投げて得点を競うスポーツです。

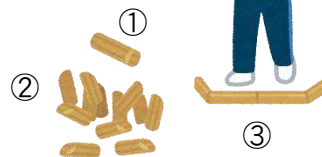
日本では2019年の世界大会に、お笑い芸人の「さらば青春の光」森田哲矢さん達が、日本代表で出場し、メディアでPRしたことをきっかけに、競技人口が増えはじめました。

山口県内でも、今年度より山口県クップ協会が、クップと併せてモルックの普及に力を入れています。ルールが簡単ですので、ぜひ体験してみてください。



### <用具>

- ①モルック（投げる棒）
- ②スキttl（木製のピン）
- ③モルッカーリ（投げる位置、なくてもOK）



### <ルール>

1. 投げるライン（モルッカーリか木の箱）から3～4m（公式試合3.5m）離れた場所にスキttlを【写真①】のように並べます。
2. ジャンケン等で投球順を決めモルックを投げ、スキttlを倒します。（例）個人戦で2～4人、団体戦2～3人×2チーム
3. 持ち方は自由で、投げ方は下手投げです。  
複数本倒れた場合は、倒れた本数が得点になり、1本のみ倒れた場合はスキttlに書かれている数字が得点になります。  
（【写真②】のように、スキttlが重なって完全に倒れてない場合は、カウントしません）
4. 【写真③】のように、スキttlは倒れた地点で毎回立て直します。
5. 最初に50点ぴったりに達した人（チーム）が勝ちです。  
（50点をオーバーすると25点に戻ります）
6. 3回連続でスキttlを倒せず、得点できない場合は0点になり、失格となります。  
（ローカルルールで、4回連続にしたり、0点から再スタートする場合があります）
7. 次のゲームの投げ順は得点の低い人（チーム）からとなります。



【写真①】



【写真②】



【写真③】

### モルックアウト（リーグ戦で同点になった場合等に行われます）

- 【写真④】のように、手前から6、4、12、10、8の順に、モルックの長さで等間隔、縦1列に並べます。
- それぞれのメンバーが1回ずつモルックを投げ、その都度、元の位置に戻します。
- 点数は通常のもルックと同じように計算して、チームの総得点で勝敗を決めます。
- チームの総得点が同点の場合は、1投ずつのサドンデスで勝負します。



【写真④】

日本レクリエーション協会でも用具を取り扱っています。注文の際は山口県レク協会へ。（文責 吉野）

## 🌸 賛助会員の募集 🌸

一般社団法人山口県レクリエーション協会は、余暇の充実と健康の保持・増進、スポーツ・レクリエーション活動の健全な普及・発展を通じて、よりよい社会の実現を目指し、事業を展開しています。このような当協会の目的に賛同し、ご支援いただける賛助会員（企業・団体・個人）を広く募集しております。

賛助会員になると…

なんと！当協会主催の事業の参加費が割引料金になることがあります！

1年間いくつかの行事に参加すると大変お得に！

**賛助会員** 一口 5,000 円    **特別賛助会員** 一口 30,000 円    **特別名誉会員** 一口 50,000 円

（一社）山口県レクリエーション協会 賛助会員の皆様 （敬称略・順不同）

令和4年4月1日～令和4年7月31日受付分    **ありがとうございました。**

《特別名誉会員》稲村みどり

《特別賛助会員》橋本 勲、松田義政

《賛助会員》【個人】溝部静政、河村順子、中田 徹、沖村文子、丸林奈保子、松本博之、川上 豊、小林和子、崎本みどり、富田輝美、田中時子、吉野信朗、田中留美子、平井洋子、廣實久美子、小川浩三、河内理宏、福田淳一、伊藤絹江、龍 秀幸、西山 晋、齊藤博明、飯島 護、竹重三恵、松戸芳明、伊藤徹也、桂 辰美、井上實治、仁王頭栄子、山村律子、能地泰子、夏目千恵、古川順子、中邑繁代、掛波冬男、川添孝子、徳田 将、田村きよみ、岡部久男、赤松弘子、三原善伸、明石和子、明石誠一、三原悦子、福田和子

【団体】下関市レクリエーション協会、下関レクリエーション指導者協議会、下関市手をつなぐ育成会、岩国管内レクリエーション指導者協議会、山口県グラウンド・ゴルフ協会

【企業】社会福祉法人内日福祉会ぼけっと、社会福祉法人内日福祉会ぱれっと、社会福祉法人内日福祉会びれっじ

**賛助会員は、随時受け付けています。皆様のご協力をお願いいたします。**

### 【編集後記】

体験したことのない異常気象、想像さえ困難な最悪の事件、終わりの見えない戦争、そしてコロナ禍。気持ちの暗くなる事ばかりですが、こんな時だからこそ、さあ、笑顔を作って体を動かしてみましょう。きっと、何か、明るいことが見えるはず。色々なメニューを取りそろえて、ご参加をお待ちいたしております。【稲】



www.toto-dream.com www.toto-growing.com ©19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

### アンケートのお願い

「えがお」へのご意見、ご感想をメール・ファックス・郵便でお寄せください。今後の編集の参考とさせていただきます。なお、お寄せいただいた方には粗品を進呈いたします。

